



# 社会福祉法人川崎愛児園

## 平成 30 年度

### 事業報告書

|                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 児 童 養 護 施 設                 | 川 崎 愛 児 園       |
| 地 域 小 規 模 児 童 養 護 施 設       | 野 川 つ く し ホ ー ム |
| 地 域 小 規 模 児 童 養 護 施 設       | 野 川 す み れ ホ ー ム |
| 地 域 小 規 模 児 童 養 護 施 設       | 生 田 あ や め ホ ー ム |
| 川 崎 児 童 自 立 援 助 ホ ー ム       | 大 志             |
| ま ぎ ん 児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー   |                 |
| 児 童 養 護 施 設                 | 白 山 愛 児 園       |
| 地 域 小 規 模 児 童 養 護 施 設       | 結               |
| は く さ ん 児 童 家 庭 支 援 セ ン タ ー |                 |

---

# 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| I 社会福祉法人川崎愛児園事業報告.....        | 1  |
| 法人全体の取り組み.....                | 2  |
| 施設における取り組み.....               | 13 |
| 子育て短期利用事業.....                | 14 |
| ひとり親家庭等生活・学習支援事業「すえっ子広場」..... | 14 |
| II 事業所事業報告.....               | 16 |
| 児童養護施設 川崎愛児園.....             | 16 |
| 地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム.....     | 20 |
| 地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム.....     | 21 |
| 地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム.....     | 22 |
| 川崎児童自立援助ホーム 大志.....           | 23 |
| まぎぬ児童家庭支援センター.....            | 24 |
| 児童養護施設 白山愛児園.....             | 27 |
| 地域小規模児童養護施設 結.....            | 31 |
| はくさん児童家庭支援センター.....           | 32 |

## 【法人ロゴマークの意味】



「K」「A」の組み合わせに、簡略化した「千鳥（縁起の良い和模様の一つ）」を入れたデザイン。  
語呂合わせで「千鳥＝千取り→千の福を取る」ということから、千鳥は「目標達成」や「たくさんの幸せがやってきますように」という意味を持ちます。

# I 社会福祉法人川崎愛児園事業報告

児童虐待件数は年々増加しているとともに、虐待の背景が多様化し、家庭養育の課題も複雑化していか  
な、児童養護施設に対して様々な役割が社会から求められている1年でした。

地域においては、養育負担感のある保護者からの相談が年々増加しており、児童家庭支援センターでは子育  
て家庭からの短期利用事業の需要に対応しました。子育て短期利用事業については、ショートステイ、デイス  
テイの利用増加に伴い、養育支援及び養育困難ケースの受け皿としての役割を果たすために、4月からのショ  
ートステイ体制強化に向けて準備を行いました。また、里親支援機関として施設と里親の意見交換会や、新た  
なニーズとしてレスパイトケアなどの要望がだされ、その受け皿として対応してきました。

人材育成においては、新任・中堅職員が参加する内外の研修、外部講師を招いての多岐に渡る園内研修、  
自分が所属する部署以外の他部署の業務を行う交換研修を毎月実施し、研修を通して職員一人ひとりが「求  
められる職員像」と必要な研修ニーズを理解し、職務の意識向上に繋がりました。

施設においては、施設児童の養育支援を行うだけでなく在宅ケースも含めた家族支援のケース会議を開催  
し積極的に支援しました。退所児童に対しては、さまざまな生活相談やメンタルケアを行い、自立訓練室等  
を提供して、必要に応じて医療・福祉関係機関に繋げて自立できるよう支援しました。特に子どもの権利擁  
護に関しては、権利擁護虐待防止委員会の開催、子どもの権利ノート、児童養護施設における人権擁護のた  
めのチェックリスト等を活用し、施設と職員が理解を共有して子どもの権利擁護の保障に努めました。

将来を担う子どもたちが地域社会と繋がり、共に育っていくために、地域の方々の意見を有効に活用する  
場として「川崎愛児園地域協議会」「白山愛児園運営協議会」を開催しました。また、子どもたちの生活支  
援をしているボランティア組織の拡充を図りました。

自立援助ホーム大志においては、安定した入居数を確保するために、職員体制の強化を図り、潜在的なニ  
ーズの掘り起こしを行いました。また、建物の老朽化の対応及び快適な居住環境の確保のために、4月から  
の柿生地区への移転に向けての準備を行いました。

公益的な取り組みについては、市内の社会福祉法人全体で進めている「川崎市社協 SOS 事業」が具体的に  
活動を開始し、各区での連携会議に参加して分野を超えた福祉事業者との連携を深めました。

川崎市委託事業 子どもの生活・学習支援事業「すえっ子広場」については、利用児童人数が昨年度末の 5  
名から今年度 3 月末現在で 11 名に増加しました。利用している子どもや保護者からは「学習や遊び、お手伝  
いなどたくさんの方に前向きに取り組める場所」として高く評価されています。また、保護者が希望する子  
どもに対して食事・学習習慣も含めた支援と、子どもと地域のボランティアとの関わりを通して、地域で子ど  
もを育てていく風土づくりを行いました。

# 1 法人全体の取り組み

## (1) 健全な法人組織運営

### ① 理事会及び評議員会の開催

#### ア 理事会

| 開催日                   | 議 題   |
|-----------------------|---|
| 平成 30 年 6 月 1 日 (金)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 1 次補正予算 (案) について</li> <li>・平成 29 年度 社会福祉法人川崎愛児園 事業報告 (案) について</li> <li>・平成 29 年度 社会福祉法人川崎愛児園 決算報告 (案) について</li> <li>・給与規程変更 (案) について</li> <li>・育児・介護休業等規程変更 (案) について</li> <li>・定款細則変更 (案) について</li> <li>・定時評議員会の開催日時及び場所並びに議案・議題の決定について</li> <li>・理事長より、職務執行の状況報告</li> </ul>   |
| 平成 30 年 11 月 28 日 (水) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎愛児園屋上緑化計画及び施設整備積立資産の取崩しについて</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 2 次補正予算書 (案) について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 就業規則変更 (案) について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 給与規程変更 (案) について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 経理規程変更 (案) について</li> <li>・平成 30 年度 第 2 回評議員会の開催 (案) について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 中間事業報告について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 中間収支報告について</li> <li>・川崎市指導監査報告について</li> <li>・川崎愛児園 地域協議会の発足について</li> <li>・理事長の職務執行の状況報告について</li> </ul> |
| 平成 31 年 3 月 11 日 (月)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立援助ホーム大志 移転計画 (案) について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 3 次補正予算書 (案) について</li> <li>・平成 31 年度 社会福祉法人川崎愛児園 事業計画 (案) について</li> <li>・平成 31 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支当初予算書 (案) について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 就業規則変更 (案) について</li> <li>・施設長等の任免について</li> <li>・平成 30 年度 第 3 回評議員会の開催 (案) について</li> <li>・理事長の職務執行の状況報告について</li> </ul>   |

## イ 評議員会

| 開催日                  | 議 題  |
|----------------------|--|
| 平成 30 年 6 月 18 日 (月) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 社会福祉法人川崎愛児園 収支決算 (案) の承認について</li> <li>・平成 29 年度 社会福祉法人川崎愛児園 事業報告について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 1 次補正予算について</li> <li>・給与規程変更について</li> <li>・育児・介護休業等規程変更について</li> <li>・定款細則変更について</li> </ul>   |
| 平成 30 年 12 月 6 日 (木) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 中間事業報告について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 中間収支報告について</li> <li>・川崎愛児園屋上緑化計画及び施設整備積立資産の取崩しについて</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 2 次補正予算について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 就業規則変更について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 給与規程変更について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 経理規程変更について</li> <li>・川崎市指導監査報告について</li> <li>・川崎愛児園 地域協議会の発足について</li> <li>・事故報告について</li> </ul> |
| 平成 31 年 3 月 22 日 (金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度 自立援助ホーム大志 移転計画について</li> <li>・平成 30 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支第 3 次補正予算について</li> <li>・平成 31 年度 社会福祉法人川崎愛児園 事業計画について</li> <li>・平成 31 年度 社会福祉法人川崎愛児園 資金収支当初予算について</li> <li>・社会福祉法人川崎愛児園 就業規則変更 (案) について</li> </ul>  |

## ウ 外部との連絡調整

| 開催日  | 役 職 | 主 催        | 内 容                          |
|--|-----|------------|------------------------------|
| 平成 30 年 4 月 13 日 (金)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会・企画委員会<br>法人経営者部会・研修会 |
| 平成 30 年 4 月 20 日 (金)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域ケアシステム推進会議                 |
| 平成 30 年 5 月 17 日 (木)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会                      |
| 平成 30 年 6 月 7 日 (木)<br>平成 30 年 6 月 8 日 (金) | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 大都市社会福祉協議会 (福岡市)<br>経営者部会代表  |
| 平成 30 年 6 月 28 日 (木)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 評議員会                         |
| 平成 30 年 7 月 30 日 (月)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域包括支援センター委員会                |
| 平成 30 年 9 月 10 日 (月)                       | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 川崎市社会福祉大会・実行委員会              |
| 平成 30 年 10 月 11 日 (木)                      | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会・企画委員会                |
| 平成 30 年 10 月 26 日 (金)                      | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会・正副会長会議               |
| 平成 30 年 10 月 30 日 (火)                      | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 社会福祉大会実行委員会・福祉大会             |

|                       |     |            |               |
|-----------------------|-----|------------|---------------|
| 平成 30 年 11 月 7 日 (水)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 評議員会          |
| 平成 30 年 11 月 14 日 (水) | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域ケアシステム推進会議  |
| 平成 30 年 11 月 21 日 (水) | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域包括支援センター委員会 |
| 平成 30 年 12 月 19 日 (水) | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会・企画委員会 |
| 平成 31 年 1 月 11 日 (金)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 賀詞交歓会・企画委員会   |
| 平成 31 年 1 月 22 日 (火)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会       |
| 平成 31 年 2 月 7 日 (木)   | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 行政との意見交換会     |
| 平成 31 年 2 月 26 日 (火)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域ケアシステム推進会議  |
| 平成 31 年 3 月 13 日 (水)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 地域包括支援センター委員会 |
| 平成 31 年 3 月 19 日 (火)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 法人経営者部会・企画委員会 |
| 平成 31 年 3 月 26 日 (火)  | 理事長 | 川崎市社会福祉協議会 | 評議員会          |

## ② 監事監査の実施

| 開催日                 | 内 容  |
|---------------------|--|
| 平成 30 年 5 月 29 日(火) | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度社会福祉法人川崎愛児園事業報告について</li> <li>平成 29 年度社会福祉法人川崎愛児園計算書類及び財産目録について</li> </ul> |

## ③ 法人組織体制の強化

### ア 法人事務局業務の再整備

統括施設長が作成した職務権限表をもとに、法人事務局がやるべき業務を整理し、担当者の責任と権限を明確化しました。

### イ 法人運営連携会議の実施

法人運営連携会議は川崎愛児園・白山愛児園の幹部・事務職員による会議で、各施設内の運営に関する情報共有や諸課題を議論し結論を出す会議として位置づけています。

| 開催日                        | 議 題   |
|----------------------------|---|
| 平成 30 年<br>4 月 20 日<br>(金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設内交換研修の実施について</li> <li>退所児童、一時保護中児童について</li> <li>市長来園について</li> <li>不動産会社より空き部屋活用の提案について</li> <li>職員互助会給付内容等の見直しについて</li> <li>平成 29 年度処遇改善費について</li> <li>地域小規模児童養護施設の自動火災報知機、防火カーテンの設置について</li> <li>すみれホーム 3 階部分使用について</li> </ul>  |
| 平成 30 年<br>5 月 18 日<br>(金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設内交換研修について</li> <li>退所児童、一時保護中児童について</li> <li>個人計画シートについて</li> <li>内田先生による権利擁護研修について</li> <li>評価表について</li> <li>フォローアップ研修について</li> <li>措置費の入金までの精算処理について</li> <li>学校行事のお小遣いの残りについて・ショートステイ担当者の増員について</li> <li>家庭支援専門相談員の増員について</li> <li>地域交流室を活用した公益活動について</li> <li>経営戦略会議について</li> <li>事業報告(案)について</li> </ul> |

|                             |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| 平成 30 年<br>6 月 18 日<br>(月)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児童について</li> <li>・大志の児童状況について</li> <li>・新入職員について</li> <li>・職員の退職について</li> <li>・憩いのスペース造り計画</li> <li>・性事故について</li> <li>・車両の購入について</li> <li>・退所児童、一時保護中児童について</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在職職員について</li> <li>・白山愛児園外構工事について</li> <li>・新任フォローアップ研修について</li> <li>・地域小規模児童養護施設の自動火災報知機、消防検査について</li> <li>・自家用車での旅費出張費の精算について</li> <li>・消耗品・日用品の購入について</li> <li>・平成 30 年度分処遇改善費について</li> </ul> |
| 平成 30 年<br>7 月 20 日<br>(金)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入所児童、退所児童、一時保護中児童について</li> <li>・パソナとの連携について</li> <li>・施設外交換研修について</li> <li>・勤務体制の変更について</li> <li>・熱中症対策基準について</li> <li>・パソコン入替について（白山愛児園）</li> <li>・記録ソフトについて（白山愛児園）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援について</li> <li>・結 消防特例申請について</li> <li>・中堅職員、チームリーダー専門研修について</li> <li>・行事参加に伴う手当支給について</li> <li>・ホームページについて</li> <li>・白山愛児園まつりの日程について</li> </ul>  |
| 平成 30 年<br>8 月 21 日<br>(火)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体制の変更について</li> <li>・光熱費について</li> <li>・大志の引越しについて</li> <li>・退所児童について</li> <li>・川崎愛児園の広報誌について</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児家センの予算について</li> <li>・交換研修について</li> <li>・基幹的職員研修について</li> <li>・法人設立 45 周年事業について</li> <li>・ホームページについて</li> </ul>   |
| 平成 30 年<br>9 月 28 日<br>(金)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の休職及び退職について</li> <li>・パソナとの連携について</li> <li>・見学受け入れについて</li> <li>・ホームページリニューアルについて</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールアドレス新調について</li> <li>・市指導監査について</li> <li>・理事会・評議員会について</li> </ul>   |
| 平成 30 年<br>10 月 31 日<br>(金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上憩いのスペース造り計画について</li> <li>・次年度意向調査について</li> <li>・公用車新車両取得について</li> <li>・児家セン運営費について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市指導監査について</li> <li>・理事会・評議員会について</li> <li>・来年度の採用について</li> <li>・川崎愛児園定員変更について</li> </ul>  |
| 平成 30 年<br>11 月 19 日<br>(月) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上憩いのスペース造り計画について</li> <li>・職員の休職及び退職について</li> <li>・法人自立支援部門について</li> <li>・次年度意向調査について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/21(水)職員採用試験について・白山愛児園第三者評価について</li> <li>・退所児童について</li> <li>・理事会・評議員会について</li> </ul>  |
| 平成 31 年<br>1 月 18 日<br>(金)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉車両取得について</li> <li>・大志の引越しについて</li> <li>・職員配置について</li> <li>・川崎市からのヒアリングについて</li> <li>・感謝状について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度意向調査について</li> <li>・新年度の買い替え・修理について</li> <li>・来年度の採用について</li> <li>・平成 31 年度家庭福祉対策関係予算案の概要について(全養協)</li> </ul>   |

|                           |  |  |
|---------------------------|--|--|
|                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防点検について</li> <li>・川崎愛児園インターホン設置について</li> <li>・川崎愛児園地域協議会について</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録改善委員会について</li> <li>・プレゼント代の金額について</li> </ul>   |
| 平成 31 年<br>2月 21 日<br>(木) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上憩いのスペース造り計画について</li> <li>・複合機リース満了について</li> <li>・つくしホーム公用車入れ替えについて</li> <li>・追加退職者及び異動職員等について</li> <li>・採用検討者について</li> <li>・ユニット編成の変更について</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算について</li> <li>・次年度日程確定済み行事について</li> <li>・次年度処遇改善費について</li> <li>・労基署調査指摘事項について</li> <li>・法人ホームページについて</li> </ul> |
| 平成 31 年<br>3月 19 日<br>(木) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加退職者及び異動職員等について</li> <li>・採用検討者について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度予算について</li> <li>・次年度処遇改善費について</li> </ul>  |

#### ④ 運営規程・就業規則他、諸規程の改訂

平成 30 年度に開催された理事会において下記の規程を改訂しました。

| 開催日                      | 規程・規則名     | 改訂内容   |
|--------------------------|------------|--|
| 平成 30 年 6 月 1 日<br>(金)   | 給与規程       | ・職員処遇改善手当の実施に伴う変更しました。   |
|                          | 育児・介護休業等規程 | ・育児・介護休業法の改正に伴う変更しました。   |
|                          | 定款細則       | ・評議員会の開催に関する条文の整合性を保つため変更しました。   |
| 平成 30 年 11 月 28 日<br>(水) | 就業規則       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有期契約労働者に関する労働契約法の改正に伴う変更しました。</li> <li>・有給休暇の取得について、従前の 1 日有給、半日有給に加え、新たに 1 時間単位での有給休暇を取得可能とする条文に変更しました。</li> <li>・育児・介護休業に関する法改正が多いため、育児・介護休業等規程によるものとする条文に変更しました。</li> </ul> |
|                          | 給与規程       | 通勤手当の支給限度額を新たに決めました。   |
|                          | 経理規程       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉充実残額の計算及び社会福祉充実計画策定の新設に伴い、社会福祉充実計画に関する規程を新規に盛り込み改訂しました。</li> <li>・計算書類の作成、監査、承認、備置き、所轄庁への届出、公開に関する条文の改訂および新規追加しました。</li> </ul>   |
| 平成 31 年 3 月 11 日<br>(月)  | 就業規則       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人において様々な雇用形態での職員採用が増加したことに伴い、従業員の定義を整理し、条文を変更しました。</li> <li>・宿直勤務中の労働時間についての定義を明確にする条文に変更しました。</li> </ul>  |



|  |  |   |
|--|--|---|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革関連法案における労働基準法の改正に伴い、年5日の年次有給休暇の確実な取得が義務付けられたため、条文を追加しました。</li> <li>・個人情報保護の観点から、職員退職時に秘密保持誓約書等の書類を提出させる条文に変更しました。</li> </ul> |
|--|--|---|

## (2) 各事業所の安定的な運営と財務基盤の強化

### ① 各事業所の運営状況の把握と財務・会計管理

運営状況については、毎月開催する運営会議で各部署の管理者から月次報告があり、事業運営・管理に関わる事項に対して検討・分析を行いました。

会計については、会計担当者が仕訳伝票入力を随時行い、数値の確認を会計ソフト会社 MAN90 と行っています。また、事務会議にて措置費・補助金の請求及び精算の進捗状況を毎月確認し、運転資金管理を行いました。

財務状況については、平成30年度3月末現在の仮決算の状況は、現預金・積立金合わせて約6億円の資金を保有しており、安定した財務基盤を築いています。

### ② 職員配置（国基準職員・川崎市加配職員）

別紙参照

### ③ 人件費の収支状況分析

人員配置については、平成30年度3月末までの期間において、法人全体で新任職員11名、中途入職1名、退職16名、産休1名の増減があり、第3次補正予算より約1,100万円人件費減となっています。

### ④ コスト意識の醸成

児童養護施設やホームにおける光熱水費・給食費・生活費等の支出について月次推移表を作成して予算との対比を行っています。執行状況については職員会議で共有しています。

## (3) ホームページによる情報公開

財務諸表・現況報告・役員報酬基準・事業計画・報告を平成30年7月20日にホームページにて公開しました。平成31年2月にホームページをリニューアルし公開しました。公開後ホームページを通じての問い合わせが3月末までに、寄付5件、ボランティア希望4件、その他2件、計11件ありました。

## (4) 広報誌の作成及び情報発信

川崎愛児園では広報誌「さくら」を平成30年9月に発行し、各種関係機関に550部配布しました。白山愛児園では広報誌「わかば」を平成31年1月に発行し、各種関係機関に、500部配布しました。

## (5) 人材の獲得・育成及び定着に向けた取り組み

### ① 養成校との連携・関係強化

#### ア 養成校への講義、講演

| 施設名   | 学校名        | 日数  | 内容   |
|-------|------------|-----|--|
| 川崎愛児園 | 田園調布学園大学   | 1日  | 就職セミナー「児童養護施設と職員の魅力」<br>就職活動前の準備について<br>施設実習前の準備について             |
|       | 鶴川女子短期大学   | 1日  | 就職セミナー「児童養護施設と職員の魅力」   |
|       | 十文字学園女子大学  | 2日  | 児童養護施設で働くやりがい  |
|       | 國學院大学      | 1日  | 人間開発学部こども支援学科<br>「地域の子育て家庭を支える児童家庭支援センターの取り組み」                   |
|       | 専修大学       | 3日  | 人間科学部社会学科 駒崎ゼミ<br>施設内ボランティアについてのオリエンテーション<br>施設でのボランティアについての意見交換 |
|       | 横浜保育福祉専門学校 | 1日  | 施設実習の心構え   |
|       | 横浜こども専門学校  | 1日  | 就職活動前の準備について   |
| 白山愛児園 | 鶴川女子短期大学   | 1日  | 校内就職説明会  |
|       | 田園調布学園大学   | 1日  | 就職活動前の準備について<br>施設実習前の準備について                                     |
|       | 横浜保育専門学校   | 1日  | 施設のやりがい  |
|       | 横浜保育福祉専門学校 | 1日  | 施設実習の心構え   |
|       | 國學院大学      | 1日  | 施設実習の心構え   |
|       | 鶴川女子短期大学   | 1日  | 就職ガイダンス  |
| 合計    |            | 16日 |  |

#### イ 養成校からのインターンシップ受け入れ

| 施設名   | 学校名       | 人数 | 日数  |
|-------|-----------|----|-----|
| 川崎愛児園 | 國學院大學     | 1名 | 6日  |
|       | 十文字学園女子大学 | 2名 | 6日  |
| 白山愛児園 | 國學院大學     | 1名 | 9日  |
| 合計    |           | 4名 | 21日 |

#### ウ 実習懇談会の参加

白山愛児園

| 開催日         | 学校名        | 内容                     |
|-------------|------------|------------------------|
| 平成30年5月31日  | 駒澤女子短期大学   | 学校の取り組み報告 実習担当者と教員との懇談 |
| 平成30年12月12日 | 東洋大学       | 実習報告 施設長と教員との懇談        |
| 平成31年2月7日   | 青山学院女子短期大学 | 学校の取り組み報告 施設長と教員との懇談   |

## ② ホームページを活用した採用活動の実施

平成 30 年 6 月より平成 31 年度新卒入職者の採用活動を開始しました。見学者は 30 名来園し、受験者は 17 名、うち内定者は平成 30 年度 3 月末現在 14 名となっています。

## ③ 実習生の積極的な受け入れ

| 施設名   | 学校数  | 人 数  | 延べ日数  |
|-------|------|------|-------|
| 川崎愛児園 | 23 校 | 36 名 | 462 日 |
| 白山愛児園 | 26 校 | 32 名 | 363 日 |
| 合計    | 49 校 | 68 名 | 825 日 |

## ④ 人材育成の充実 OJT 研修・交換研修の実施

### ア 職員階層別研修（新任・中堅）

| 開催月  | 研修名         | 内 容                                      |
|------|-------------|--|
| 3 月  | 入職前新任研修     | 諸規程について 児童福祉の概況 子どもの発達 権利擁護 等            |
| 5 月  | 中堅研修        | 中堅職員の役割 組織理解 メンバーシップとは 後輩指導について          |
| 6 月  | 新任フォローアップ研修 | 業務の振り返り 子どもの支援技術 接遇について 個々の課題 職員間の連携について |
| 12 月 | 指導者研修       | 指導者に求められる役割 指導者の課題 人材育成について              |

### イ 個人計画シートの作成

6 月に全職員が施設長・上司と面談し個人計画シートを作成しました。個人と部署で今年度の目標を設定し、具体的な達成方法を計画しました。年度末には振り返りの面談し上司評価を行いました。

### ウ チューター制度の実施

新任職員 1 人ひとりに対し育成担当の職員を配置するチューター制を実施しました。個別の OJT や業務に関する相談役を担うことで、新任職員が早期に業務を習得することに繋がりました。年度末には今年度の取り組みを振り返る機会を持ちチューター制度マニュアルの作成に取り組みました。

### エ 交換研修

直接処遇職員が自分の所属以外のユニットやホームで勤務する研修を毎月実施しました。他部署の理解を深めることで新たな支援方法に関する気付きや、所属する部署の状況を振り返ることに繋がりました。年間を通して全職員が 1～2 回程度実施しています。

## ⑤ 職場の処遇改善及び職場環境の整備

### ア ストレスチェックの実施による職員健康管理の推進

全職員を対象にストレスチェックを実施し、精神の健康状態を確認しました。心理的負担の高い職員には個別に面接の機会を設け、負担軽減に向けた解決策を話し合いました。

## イ 安全衛生委員会による職場環境の整備

快適な職場環境形成のために毎月 1 回会議を開催し、施設的环境整備・環境美化に取り組みました。

## (6) 人権・権利擁護

### ① 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリストの実施

| 施設名   | 実施日                               |
|-------|-----------------------------------|
| 川崎愛児園 | 平成 30 年 5 月 25 日・平成 31 年 2 月 25 日 |
| 白山愛児園 | 平成 30 年 7 月 25 日・平成 30 年 9 月 23 日 |

### ② 児童福祉施設職員研修（人権研修）への参加

神奈川県が主催する児童福祉施設職員研修（人権研修）を受講しました。

| 階層   | 受講日                         |
|------|-----------------------------|
| 新任職員 | 平成 30 年 10 月 18 日 11 月 7 日  |
| 中堅職員 | 平成 30 年 10 月 25 日 12 月 12 日 |
| 施設長  | 平成 30 年 12 月 5 日            |

### ③ 児童に向けた安心安全チェックリストを毎月実施しています。

### ④ 権利擁護虐待防止委員会の開催

| 開催日             | 内 容                                |
|-----------------|------------------------------------|
| 平成 30 年 5 月 5 日 | 児童状況報告 権利に関する取り組み報告 支援上の留意点 児童への紹介 |
| 平成 30 年 9 月 7 日 | 児童状況報告 権利に関する取り組み報告 苦情対応のフローチャート検討 |

## (7) インシデント

各園の委員会が中心となり、ひやりハットの集計と分析を行い、事故防止対策や環境整備に繋がりました。職員全体でインシデント対策に関する勉強会を開催し、要因と予防策について検討しました。ひやりハットの内容を防げたものとしてないものに分類し、今後の改善策に繋がりました。中でも件数の多かった転倒・転落については物の配置変更やすべり止めシートの活用等、具体的な対策を実施しました。

## (8) 地域における公益的な取り組みの推進

### ① 川崎市社協 SOS 事業（生活困難者対応）への参加

この取り組みは、「制度の狭間」や「複雑・複合的な課題」を含めた地域・生活課題に、高齢・障害・児童といった専門領域を超えた連携で取り組んでいくことを目的としています。地域の参加施設が「顔の見える関係」となるよう施設の機能紹介やグループワークを行い、関係を深めました。

| 開催日              | 会議名           | 議 題               |
|------------------|---------------|-------------------|
| 平成 30 年 7 月 9 日  | 宮前区連携ネットワーク会議 | 参加施設の機能紹介、グループワーク |
| 平成 30 年 7 月 11 日 | 高津区連携ネットワーク会議 | 参加施設の機能紹介、グループワーク |

|                  |               |                   |
|------------------|---------------|-------------------|
| 平成 30 年 7 月 11 日 | 麻生区連携ネットワーク会議 | 参加施設の機能紹介、グループワーク |
|------------------|---------------|-------------------|

## ② 地域協議会

### ア 川崎愛児園地域協議会の開催

| 開催日              | 議 題                                |
|------------------|------------------------------------|
| 平成 31 年 3 月 15 日 | 委員委嘱 施設現況報告 関係機関・団体より 地域の福祉ニーズについて |

### イ 白山愛児園運営協議会の開催

| 開催日              | 議 題                       |
|------------------|---------------------------|
| 平成 30 年 5 月 8 日  | 委員委嘱 施設現況報告 関係機関・団体より その他 |
| 平成 30 年 9 月 4 日  | 会長挨拶 施設現況報告 関係機関・団体より その他 |
| 平成 30 年 11 月 7 日 | 施設現況報告 関係機関・団体より その他      |
| 平成 31 年 2 月 13 日 | 施設現況報告 関係機関・団体より 意見交換会    |

## ③ 地域交流室の有効活用

川崎愛児園

平成 31 年 3 月 31 日現在

| 団体名                       | 平成 30 年度<br>活動日数 | 平成 29 年度<br>活動日数 | 増 減   |
|---------------------------|------------------|------------------|-------|
| 高齢者合唱グループ「陽だまりの会」         | 24 日             | 19 日             | +5 日  |
| 子育て支援団体「宮前子育て応援団」         | 13 日             | 10 日             | +3 日  |
| 川崎市里親の会「あゆみの会」            | 5 日              | 1 日              | +4 日  |
| ダウン症親の会                   | 4 日              | 1 日              | +3 日  |
| 高齢者カフェ「桃花」                | 2 日              | 2 日              | ±0 日  |
| 子育て支援団体「カンガルー宮前子育てネットワーク」 | 3 日              | 7 日              | -4 日  |
| 不登校支援団体「パレット」             | 1 日              | —                | +1 日  |
| 保育園保護者会                   | 1 日              | —                | +1 日  |
| 馬絹町内会                     | 1 日              | —                | +1 日  |
| 子育て支援団体「スキップ」             | 1 日              | —                | +1 日  |
| 地域活動グループ「みやまえ農の応援隊」       | 3 日              | —                | +3 日  |
| 発達障害児保護者団体「ひつじの会」         | 1 日              | —                | +1 日  |
| 子どもお菓子教室ベリリー 〈地域子ども活動団体〉  | —                | 1 日              | -1 日  |
| おひさま」子育て家庭向け講演会 〈子育て支援団体〉 | —                | 1 日              | -1 日  |
| ゴスペル教室 〈子育てグループ〉          | —                | 1 日              | -1 日  |
| じもたんキッズ 〈地域子ども活動団体〉       | —                | 1 日              | -1 日  |
| 合計                        | 59 日             | 44 日             | +15 日 |

白山愛児園

| 団体名                  | 平成 30 年度<br>活動日数 | 平成 29 年度<br>活動日数 | 増 減   |
|----------------------|------------------|------------------|-------|
| 虹の会, ほんの森            | 92 日             | 71 日             | +21 日 |
| ちゃちゃっこダンス            | 2 日              | 12 日             | -10 日 |
| パラマナンド・ヨガ            | 11 日             | 7 日              | +4 日  |
| にこりん                 | 11 日             | 1 日              | +10 日 |
| 王禅寺 FC               | 2 日              | 1 日              | +1 日  |
| 親オヤ講座 講演会            | 10 日             | 6 日              | +4 日  |
| 白山保育園                | 2 日              | —                | +2 日  |
| ぴよぴよママーズ 搬入・練習・コンサート | 3 日              | —                | +3 日  |
| かか' s dance          | —                | 2 日              | -2 日  |
| 合計                   | 133 日            | 100 日            | 33 日  |

④ ボランティアの受け入れ

川崎愛児園

平成 31 年 3 月 31 日現在

| 活動名                | 活動日数  |
|--------------------|-------|
| 学習ボランティア           | 71 日  |
| NKK シームレス プレゼンキッズ  | 7 日   |
| 理容ボランティア           | 11 日  |
| 裁縫ボランティア           | 7 日   |
| コスモス文庫（読み聞かせ）      | 44 日  |
| 清掃ボランティア           | 29 日  |
| 交流ボランティア           | 100 日 |
| 調理ボランティア           | 46 日  |
| 手芸ボランティア           | 5 日   |
| その他 企業による ボランティア活動 | 6 日   |
| 合計                 | 326 日 |

白山愛児園

| 活動名                  | 活動日数 |
|----------------------|------|
| YaiYai（手芸活動）         | 2 日  |
| 神奈川県土木一般労働組合（木工活動）   | 1 日  |
| 小学生グループ「はお」          | 46 日 |
| 季節の小学生グループ活動「はお！ハオ！」 | 3 日  |
| 合計                   | 52 日 |

## 2 施設における取り組み

### (1) 施設多機能化の推進

新しい社会的養育ビジョンを受けた都道府県社会的養育推進計画の動向を踏まえて、円滑に施設運営を進めていくために、施設多機能化といった施設機能の強化策を支える職員の人材確保・育成・定着を検討しました。

### (2) 里親、ファミリーホームの支援

- ① 神奈川県里親担当者会に参加して5県市の取組みの強化推進に協力しました。
- ② 川崎市里親担当者連絡会を通して市内の里親支援推進・連携を行いました。
- ③ 川崎市ファミリーホーム連絡会へ参加しました。
- ④ 登録前里親実習の受け入れ

| 施設名   | 人数  | 延べ日数 |
|-------|-----|------|
| 川崎愛児園 | 11名 | 31日  |
| 白山愛児園 | 8名  | 20日  |
| 合計    | 19名 | 51日  |

#### ⑤ 里親レスパイトの受け入れ

| 施設名   | 人数 | 延べ日数 |
|-------|----|------|
| 川崎愛児園 | 6名 | 17日  |

### (3) アフターケアの充実

#### 川崎愛児園

|        |  |
|--------|--|
| 対応児童数  | 5名   |
| 対応職員数  | 7名   |
| 対応日数   | 33日  |
| 活動内容   | 生活状況確認 面接 役所の手続き 奨学金書類受渡し 生活購入品付き添い<br>奨学金申請書類作成 進学先への訪問 金銭シミュレーション作成 就労相談 |
| 里帰り児童数 | 1名   |

#### 白山愛児園

|        |  |
|--------|--|
| 対応児童数  | 6名   |
| 対応職員数  | 5名   |
| 対応日数   | 80日  |
| 活動内容   | 面接 関係機関とのカンファレンス 引っ越し 職場訪問 定期券購入補助<br>物件探し 安否確認 生活状況の確認 家庭訪問 入院付き添い お見舞い<br>退院付き添い 掃除 家計管理補助 就労先の紹介 住民票異動補助<br>携帯電話の解約と契約補助 弁護士事務所へ付き添い 警察への相談 |
| 里帰り児童数 | 3名   |

### 3 子育て短期利用事業

#### (1) 法人全体合計数

| 施設名   | 平成 30 年度 |       |       | 平成 29 年度 |       |       |
|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
|       | 利用実人数    | 延利用人数 | 延べ日数  | 利用実人数    | 延利用人数 | 延べ日数  |
| 川崎愛児園 | 55 名     | 240 名 | 912   | 46 名     | 206 名 | 464 日 |
| 白山愛児園 | 42 名     | 177 名 | 336   | 23 名     | 82 名  | 221 日 |
| 合 計   | 97 名     | 417 名 | 1,248 | 69 名     | 288 名 | 685 日 |

#### (2) 施設別前年比増減数

##### ① 川崎愛児園

| 年 度      | 利用実人数 | 延利用人数 | 延べ日数   |
|----------|-------|-------|--------|
| 平成 30 年度 | 55 名  | 240 名 | 912 日  |
| 平成 29 年度 | 46 名  | 206 名 | 464 日  |
| 増 減      | +9 名  | +34 名 | +448 日 |

##### ②白山愛児園

| 年 度      | 利用実人数 | 延利用人数 | 延べ日数   |
|----------|-------|-------|--------|
| 平成 30 年度 | 42 名  | 177 名 | 336 日  |
| 平成 29 年度 | 23 名  | 82 名  | 221 日  |
| 増 減      | +19 名 | +95 名 | +115 日 |

##### ③ 法人全体増減数

| 施設名   | 利用実人数 | 延利用人数  | 延べ日数   |
|-------|-------|--------|--------|
| 川崎愛児園 | +9 名  | +34 名  | +448 日 |
| 白山愛児園 | +19 名 | +95 名  | +115 日 |
| 増 減   | +28 名 | +129 名 | +563 日 |

困難を抱える保護者に、「子育てをサポートしてもらっている」と直接に感じられる具体的なサービスとして、ショートステイ・デイステイを提供し負担感を緩和しています。法人全体で利用人数が 28 人増加、延べ日数は 563 日増加しており、今後も利用増加の傾向にあります。

### 4 ひとり親家庭等生活・学習支援事業「すえっ子広場」

#### (1) 久末地区の市営住宅集会所を利用し、職員・ボランティアを配置して活動

この事業は、川崎市が市内 3ヶ所の法人に委託をして開始した、小学生の放課後の居場所事業です。毎週火・木曜日の 16:00~20:00 の間で実施し、実施地域において様々な理由で放課後から夜間まで一人で留守番をする子どもや、地域での見守りやサポートが必要な子どもの居場所として機能しています。

法人独自の取組みとして、法人車両を使用した子どもの送迎を行っています。住まいが実施場所から遠く保護者の送迎が困難な場合でも、利用ニーズが高いと判断した場合には、必要な子どもが広場を利用できるように家庭の事情に合



わせて対応しました。

本事業は、放課後の居場所としての役割とともに、子どもが望ましい生活習慣や学習習慣を身につけること、多世代との関わりの中で地域との繋がりやコミュニケーションの力を育むことを目的としています。職員や地域ボランティアや学生ボランティアとの日々のやりとりの中で、子どもたちが様々なことを経験し学ぶことができる場になっていると考えます。

| 年 度      | 利用児童人数 | ボランティア人数 | 実施日数     |
|----------|--------|----------|----------|
| 平成 30 年度 | 11 名   | 18 名     | 95 回     |
| 平成 29 年度 | 5 名    | 4 名      | 44 回（※1） |
| 増 減      | +6 名   | +14 名    | +51 回    |

※1 平成 29 年度は事業開始が 10 月 17 日からのため実施日数が少なくなっています

## （2）近隣の高齢者施設（社会福祉法人緑成会）との協同

5 月にすえっ子広場の実施場所の近隣に高齢者施設（特別養護老人ホーム「新緑の郷」）が開設されました。施設運営の方々と地域交流スペースの有効活用について意見交換をしました。12 月のクリスマスには、利用児童が手作りをしたクリスマス飾りを施設に訪問してプレゼントしました。施設では高齢者の方と子ども達が一緒にクリスマス飾りをツリーに飾り、普段は小さい子ども達と関わる機会が少ない利用者の方が素敵な笑みを浮かべながら関わってくださったことが印象的で、お互いに良い交流となりました。

## Ⅱ 事業所事業報告

### 1 児童養護施設 川崎愛児園

川崎愛児園では複合的な課題を持つ児童が多く在籍する現状の中で人材育成が重点課題となっています。階層別研修やチューター制度・交換研修を実施し、職員一人ひとりがキャリアアップを実感できるような取り組みを行いました。

日常生活支援においては児童との対話場面を重要視し、安心安全チェックリストや子ども集会を中心に児童が意見表明できる場を多く設けました。

学習においては従来の日課に加え、複数の職員が個別に支援する勉強会を学齢別に週2回開催し基礎的学力の向上に繋がりました。

#### (1) 養育・支援の実施

##### ① 養育目標に対する中間評価

###### 幼児

###### ア 児童一人ひとりの長所を伸ばす

毎月実施している支援会議やユニットミーティングにおいて児童の長所や良い所を職員間で共有しました。また生活支援の中でそれらを引出し褒める機会を意図的に設けました。それぞれが自分の長所に気付くことで自己肯定感の向上に繋がりました。

###### イ 小学校、幼稚園との連携強化

幼稚園と4回、小学校と2回の連絡会議を実施しました。児童の支援方針を確認すると共に、先生を施設に招き生活空間を見て頂くなど、相互理解を高める取り組みを行いました。

###### ウ 健康管理の強化

毎月1回の嘱託医による健康診断を実施しました。また、体調管理シートを活用し日々の児童の健康状況の把握に努めました。インシデント対策についても計6回の意見交換を実施し意識の向上に努めました。

###### 学童女子

###### ア 個々の課題に合わせた生活目標の設定

毎月の生活目標を職員と児童で話し合い設定しました。達成度は個々によって差はありますが、児童が自分の課題と目標を意識しながら生活することに繋がりました。また、課題だけではなく四季に触れる、交通機関を利用する等、子どもに体験してほしいことをフロア行事として計画し、年3回実施しました。

###### イ 詩吟やスポーツクラブ等の習い事の奨励

詩吟や卓球クラブに4名の児童が参加しました。地域の中で活動することで、技術の向上や礼節を学ぶ姿が見られました。それぞれが大会にも出場し日々の練習の成果を発揮する事ができました。

###### ウ 学習支援の強化

学習ボランティアを4名、学習塾を2名の児童が利用しました。その他の児童は週2回園内で実施している学習支援に継続的に参加しました。個々のレベルに合った支援を実践することで基礎学力の向上に繋がりました。受験生に対しては受験対策を目的とした勉強会も複数回実施し、志望校の合格に繋げる事ができました。

## 学童男子

### ア 毎月1回のユニット会議実施

毎月1回のユニット会議を実施し、ユニット内のルールを子ども達と話し合いました。始めはどんな話をすればよいのか戸惑う姿も見られましたが会を重ねるごとに自分の意見や考えを発言する児童が増えました。

### イ スポーツクラブ等の習い事の奨励

地域の野球クラブに4名の児童が参加し、毎週土日に一生懸命練習をしています。職員も練習や大会の補助として参加し子ども達の成長を支えられるよう取り組みました。卓球クラブに1名の児童が参加し大きな大会で表彰されるなどの成果がみられました。地域社会のルールが身に付いたり、活躍の場も増えたりと子ども達の自信に繋がる姿が見られました。

### ウ 年齢、発達に合わせた性教育を実施

子ども達の年齢や発達に合わせて性教育を目的とした保健師指導を4回実施しました。また、児童が日々の生活での思いや二次成長に関する悩みについて相談する機会を定期的に設けました。

## ② こどもの満足度向上のための取り組み

### ア こども集会を毎月1回以上実施しこどもの意見表明の場を保障します。

毎月1回のこども集会を実施しました。こどもの意見表明の場として活用し、主に園のルールについて話し合いました。また集会の中で実施月の誕生日児童をお祝いする場を設けました。

### イ 安心安全チェックリストを毎月実施し、こどもの満足度を把握していきます。

小学生以上の児童を対象に安心安全チェックリストを毎月1回実施しました。その中で上がった不満については職員間で共有し早期解決を図りました。こども達からも職員に相談して良かったという声が上がりました。

### ウ 習い事を推奨し、こどもが地域の中で成長できる機会を増やしていきます。

地域の野球クラブに4名、卓球クラブに2名、詩吟に8名の児童が参加しています。日々の練習や大会を通して自己肯定感や社会性の向上に繋がっています。また、ボランティアの力を活用し裁縫や手芸を定期的に教えてもらう機会も設けました。

## ③ 学習支援の強化

### ア こども一人ひとりの学習支援計画を作成・実施します。

学習支援員が中心となり個々の学力、成績、進路希望をまとめた物を園全体で共有しています。それらの情報を各教育機関と確認し、年度内には個々の学習支援計画を作成していきたいと考えています。

### イ 日課の中の学習支援に加え週2回の勉強会を実施し、学力や意欲の向上を目指します。

毎週 2 回の勉強会を継続して実施しています。児童も継続的に参加する事で学習習慣が身に付き、学力や学習意欲の向上に繋がっています。

#### ウ 個々の課題に合った学習教材を購入し活用していきます。

主に発達障害を抱えた児童を対象に作られた教材ソフトの購入を検討しています。9 月には職員会議内で教材ソフトの説明会を開催し内容を確認し来年度からの購入を計画しています。

#### エ 塾や学習ボランティアを活用していきます。

園全体で塾を 5 名、学習ボランティアを 7 名の児童が利用しています。学習の仕方がわからず悩んでいる児童がテスト勉強を計画的に行う姿が見られました。

## (2) 行事報告

| 実施日         | 形態 | 行事名           | 内容                | こども | 職員  |
|-------------|----|---------------|-------------------|-----|-----|
| 4/1         | 園  | お花見会          | 新児童職員紹介           | 56名 | 39名 |
| 5/5         | 園  | 市長来園          | こどもの日のお祝い         | 48名 | 22名 |
| 5/20        | 招待 | ヨット招待         | ヨット乗船体験           | 11名 | 5名  |
| 6/9         | 招待 | あおば子どもミュージカル  | ミュージカル観劇          | 5名  | 2名  |
| 6/10        | 文体 | 卓球大会          | 施設間交流卓球大会         | 16名 | 8名  |
| 6/21        | 招待 | メソニック子ども祭り    | 出店                | 14名 | 6名  |
| 6/26        | 招待 | プロレス招待        | プロレスの試合観戦         | 10名 | 3名  |
| 7/22        | 招待 | ホームカミングデー     | 乳児院同窓会            | 4名  | 2名  |
| 7/23~<br>25 | 園  | 小学生ハケ岳キャンプ    | 小学生夏期転住           | 20名 | 20名 |
| 7/30~<br>31 | 園  | 幼児キャンプ        | 幼児夏期転住            | 12名 | 13名 |
| 8/6~8       | 文体 | 野球・ソフト大会      | 施設間交流対抗試合         | 49名 | 30名 |
| 8/8         | 招待 | ポリショイサーカス     | サーカス鑑賞            | 14名 | 6名  |
| 8/15        | 招待 | ヤングアメリカンズ     | ワークショップへの参加、ショー観劇 | 4名  | 1名  |
| 8/18        | 招待 | プロレス招待        | 試合観戦              | 13名 | 4名  |
| 8/18~<br>20 | 園  | 中高生キャンプ       | 中高生夏期転住           | 29名 | 17名 |
| 8/25        | 招待 | サッカー          | サッカーの試合観戦         | 2名  | 1名  |
| 8/26        | 園  | 野球・ソフト大会お疲れ様会 | 食事会               | 26名 | 16名 |
| 9/1         | 招待 | 英国ロイヤルバレエ団    | バレエ観劇             | 4名  | 1名  |
| 9/2         | 招待 | 音楽会～さくらの会～    | 音楽会・同窓会           | 5名  | 2名  |
| 9/7         | 園  | 園内水泳大会        | 水泳の競争             | 18名 | 10名 |
| 9/22        | 招待 | 野球            | 試合観戦              | 3名  | 2名  |

|              |     |                |                   |     |     |
|--------------|-----|----------------|-------------------|-----|-----|
| 10/6         | 地域  | 街頭募金           |                   | 10名 | 3名  |
| 10/13        | 園   | 川崎愛児園祭り        | 地域交流 模擬店          | 54名 | 54名 |
| 11/17        | 文体  | 駅伝大会           | 施設交流駅伝大会          | 34名 | 22名 |
| 12/22        | 園   | クリスマス会         | 招待者との食事会 出し物      | 51名 | 52名 |
| 1/1          | 招待  | 春秋苑招待          | 食事 新年のお参り         | 27名 | 8名  |
| 1/4          | 園   | 児童新年会          | 食事会 新年の抱負の発表      | 30名 | 11名 |
| 1/20         | 地域  | 富士見ライオンズクラブ餅つき | 新年の餅つき            | 25名 | 8名  |
| 1/12         | 神児研 | 送別マラソン大会       | 施設交流マラソン大会        | 32名 | 40名 |
| 2/2~3        | 文体  | あすなろ交歓会・作品展    | 発表と作品展出店          | 43名 | 29名 |
| 3/2・<br>9・27 | 招待  | ディズニーランド招待     | 寄付を頂いての招待         | 58名 | 54名 |
| 3/12~<br>16  | 文体  | スキー教室          | 卒業生対象の宿泊スキー教室     | 6名  | 2名  |
| 3/18~<br>19  | 園   | 卒業旅行           | 卒園・卒業をお祝いする旅行     | 7名  | 3名  |
| 3/25         | 園   | 卒業と進級を祝う会      | 卒園生のお別れ及び進級児童を祝う会 | 57名 | 54名 |

## 2 地域小規模児童養護施設 野川つくしホーム

職員2名を迎え入れ、子ども達との関係性構築が心配されましたが、それぞれが特技を十二分に発揮した支援に当たることが出来ました。子ども達からも「食事が美味しい。」「料理が上手。」と喜ばれたり、家庭菜園の手伝いや収穫を通じて新しい経験や楽しく食事が摂れる機会がさらに増えました。

ホーム会議や個別の時間等を通じて、生活上での約束事やマナーについて確認したり、守る意味について説明する機会を設け、生活上でのトラブルや不満の蓄積に繋がらないように取り組みました。

近所の民生委員さんが数回ホームに足を運んでくださり、子ども達へのご寄付を頂きました。

### 養育目標に対する年間評価

#### ア 児童にとって、居心地の良い、落ち着く環境。大人側が忘れずに応える、頼りになると感じられるコミュニケーション作り

リビングなどの共有スペースは、毎日の掃除の徹底を心掛け、綺麗で使いやすい、居心地の良い環境に努めました。また、子どもにとって大事に必要な所用や物品、準備等は早期相談と対応に心がけて取り組みました。高齢児には自分でやらなくてはならない事と大人の協力を得ても良い線引きが持てるよう職員間で共通認識を持ちながら対応しました。

#### イ 気持ちがかもった言葉を児童側に毎日伝える。正しい相談、事の善悪、次に活かすための知識

人から何かしてもらったら、「ありがとう。」と自然に言える子どもが多くいます。現状を大切に維持していきたいと思います。

学校生活に悩みを抱え生活が乱れる児童もいましたが、その都度個別の時間を設けたり、本園や児童相談所の協力（面接等）も借りながら、社会的規範や進路について一貫した話を繰り返ししました。

#### ウ 児童の能力や適性に合った進路先を開拓

それぞれの児童の特性に合った進学先を探すべく、児童本人と共に多くの学校を見学しました。また高校を卒業する児童については就労に向け様々な資格取得や技術を磨く社会資源を利用しました。

### 3 地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム

学校のPTA活動へ積極的に参加し、行事や草刈りの手伝いを行いました。また登下校の際、交通安全の見守りも行い他の保護者や児童とも多くの交流をして繋がりをもちました。

学校と連絡会を実施し、学校、児童相談所と足並みを揃えられるよう児童の情報共有を行い、児童に合った支援を検討しました。

また、地域との連携と環境整備では、地域の清掃活動や近所の公園と老人ホームでの花植え、お祭りに参加し、地域の方と関わる機会を設け、多くの方との関わりがありました。

#### 養育目標に対する年間評価

##### ア 学校との連携

ホームと学校の様子を電話や面談を通じて共有し、児童に合った支援を共に考えていきました。特に学習面で、学校と家庭での児童の躰きを共有し、1人ひとりに合った声掛けや宿題以外での自宅学習の取り組み、支援を実践しました。また、学校生活において課題がある児童については情報を共有し、解決に向けて連携した指導を実践しました。

##### イ 職員、児童の話し合いが出来るホーム会議の実施

毎月1回のホーム会議を実施し、日常生活の中での確認事や、児童が頑張っている事を全員の前で褒める場として設けたり、児童からの意見の吸い上げ、職員からの提案をし、職員と児童が常に話し合いが出来る環境作りをしました。

##### ウ 児童に合った性教育の実施

児童の性別に合わせ同性の職員が性教育を行いました。特に、二次成長を迎えている児童に関しては個別に相談できる場を設け不安の解消に努め、生活の中で男女交際についてや、異性に対する言動など、丁寧に聞き取りながら、小さなことでも拾い、必要に応じて個々に合わせて性教育を実施しています。職員も正しい性の知識を伝えられるよう地域の保健師主催の勉強会に参加しました。

## 4 地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム

小学校の卒業対策委員として PTA 活動に参加し、多くの行事に協力しました。行事や委員会を通し他の保護者や児童とも交流と繋がりを持ちました。

ホーム内では児童同士、児童と職員との関係性の構築の為、日々の会話を大切にしてきました。必要に応じて助言を行い、お互いに相手を思いやる心を育くめるよう支援をしてきました。

望ましい集団生活を通し、よりよい生活や人間関係を築くため、ホーム合同の行事を年 2 回、本園の行事にも多く参加し、ホーム独自の行事も行い、生活にメリハリをつけて楽しい時間を共有しました。

### 養育目標に対する年間評価

#### ア 楽しく豊かな食生活を目指した食育の実施

季節食、行事食を提供し、由来や起源などを説明し皆の幸せや健康を願っている事を伝え、旬の食材を食べることで季節を感じ、食事を楽しめるように工夫しました。子ども達のリクエストメニューを取り入れたり、苦手な食材でも味付けで食べやすいように工夫したり、皆が笑顔で食卓を囲めるように食育に力を入れました。

#### イ 個々の学力に応じた学習支援

各自の学力に応じた教材を用意し、家庭学習を行う事で学習時間を確保し、個別に対応する時間を作り学力の向上に努めました。その結果、学校の授業で躓くという姿も見られませんでした。高校受験の児童は通塾し、塾講師と必要な情報を共有し、無事志望校に合格する事が出来ました。

#### ウ 個々に合わせた性教育の実施

あやめホームが女子のみの構成という事と、恋愛に興味のある年代の子が多く生活し、実際に付き合っている子や、恋愛漫画など目にする機会が多く、日々子ども達の会話から男女交際の話などが出ていました。漫画や友人などからの間違った性情報や性知識ではなく、正しい性知識を身に付けられるよう、必要に応じ個々に合わせて性教育を実施しました。



## 5 川崎児童自立援助ホーム 大志

将来の安定した就労のためには教育が重要であることを再認識し、教育機関と連携しながら支援しました。今年度末に高校を卒業する2名については学校の支援もあり1名が進学、1名が就職となりました。また、退所後のアフターケアにも力を入れ20件の相談、訪問支援を実施しました。

利用が短期間の児童が多くいますが、日々の支援の中で一人ひとりの自尊心を高め、精神的にも安定した状態で社会に巣立っていけるよう丁寧な支援を心掛けました。

### 養育目標に対する年間評価

#### ア 新たな社会資源の開拓

新たに2つの就労支援機関と連絡を取り、今後の連携、協働についてお願いしました。3名の児童が就労先を紹介してもらいアルバイトでの雇用に繋がりました。

#### イ 職員の支援技術の向上

人材育成に関する外部研修に5回参加し、職員の支援技術向上を図りました。また、児童の権利に関するホーム内での勉強会を2回実施し、生活支援の質の向上に繋がりました。

#### ウ 丁寧な相談援助と生活支援

ホームを利用する児童に職員の支援に関するアンケートを実施しました。結果に関しては児童と職員で共有し、ルールや支援方針の見直しに繋がりました。

## 6 まぎぬ児童家庭支援センター

まぎぬ児童家庭支援センターは、困難な状況にある地域の子育て家庭からの相談に応じ支援しました。家庭の状況や相談の内容によっては、区役所や児童相談所といった行政機関を中心に地域の様々な関係機関と連携をして子育て家庭を支援しました。地域での認知度が高まり、行政の相談機関はもとより、地域の子育て支援センターや療育センター、医療機関などの地域の関係機関からも紹介を受けるようになり、相談件数が徐々に増加しています。

### (1) 運営事業

#### ① 相談事業

##### ア 受理人数

| 相談受理人数 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減    |
|--------|----------|----------|--------|
| 実人数    | 132 人    | 109 人    | +23 人  |
| 延べ人数   | 489 人    | 345 人    | +144 人 |

##### イ 相談延べ件数

| 経 路    | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減    |
|--------|----------|----------|--------|
| 電話相談   | 760 件    | 575 件    | +185 件 |
| 来所相談   | 505 件    | 236 件    | +269 件 |
| 訪問相談   | 91 件     | 74 件     | +17 件  |
| 心理療法等  | 26 件     | 25 件     | +1 件   |
| メール相談  | 0 件      | 0 件      | ±0 件   |
| 手紙相談   | 0 件      | 0 件      | ±0 件   |
| 相談延べ件数 | 1,382 件  | 910 件    | +472 件 |

##### ウ 相談・指導内容の種別件数

| 種 別     | 平成 30 年度               | 平成 29 年度             | 増減                     |
|---------|------------------------|----------------------|------------------------|
| 養護      | 1,195 件<br>(虐待再掲 13 件) | 798 件<br>(虐待再掲：29 件) | +397 件<br>(虐待再掲：-16 件) |
| 障がい     | 0 件                    | 0 件                  | ±0 件                   |
| 非行      | 0 件                    | 0 件                  | ±0 件                   |
| 育成 性格行動 | 76 件                   | 58 件                 | +18 件                  |
| 育成 不登校  | 8 件                    | 8 件                  | ±0 件                   |
| 育成 適性   | 2 件                    | 0 件                  | +2 件                   |
| 育成 しつけ  | 15 件                   | 21 件                 | -6 件                   |
| いじめ     | 0 件                    | 0 件                  | ±0 件                   |
| DV      | 70 件                   | 4 件                  | +66 件                  |
| その他     | 16 件                   | 21 件                 | -5 件                   |
| 総件数     | 1,382 件                | 910 件                | +472 件                 |

## エ 相談経路別件数

| 種 別        | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減    |
|------------|----------|----------|--------|
| 児童相談所      | 200 件    | 183 件    | +17 件  |
| 福祉事務所      | 133 件    | 100 件    | +33 件  |
| 区市町村・その他   | 0 件      | 3 件      | -3 件   |
| 児童福祉施設・保育所 | 54 件     | 40 件     | +14 件  |
| 児童福祉施設・その他 | 0 件      | 0 件      | ±0 件   |
| 保健所及び医療機関  | 69 件     | 32 件     | +37 件  |
| 学校等        | 23 件     | 16 件     | +7 件   |
| 家族親戚       | 845 件    | 472 件    | +373 件 |
| 近隣知人       | 5 件      | 2 件      | +3 件   |
| 児童本人       | 31 件     | 32 件     | -1 件   |
| 18 歳以上本人   | 13 件     | 21 件     | -8 件   |
| 里親・里子      | 0 件      | 0 件      | ±0 件   |
| その他        | 9 件      | 9 件      | ±0 件   |
| 総件数        | 1,382 件  | 910 件    | +472 件 |

- ・相談内容は主に子育てに負担を感じている保護者からが多く、そのため、レスパイトケアを目的とした「子育て短期利用事業」の利用依頼が年々増加しています。
- ・相談者の世帯形態をみると、「ひとり親世帯」からの相談が約 6 割を占めており、子どもがいる世帯全体に占める「ひとり親世帯」の割合が 1 割弱であることと比べると、「ひとり親世帯」からの相談が非常に多く、困難を抱えやすい状態にあると思われます。児家センに相談のあった「ひとり親」の保護者は、育児の手助けが頼める親族がおらず、『家事も育児も仕事も』生活のすべてを一人の保護者が担っています。そのため身体的にも精神的にも疲弊し、適切な支援を必要としています。
- ・相談者全体をみても、地方から転入し育児をサポートしてもらえる親族が近隣にいない保護者や、地域住民同士の繋がりが薄い保護者が増えていると考えられます。また、今後は「ひとり親世帯」への家事支援や、移動支援、子どもへの学習支援などの具体的なサービスへのニーズが高まることが予想されます。

## オ 関係機関等との連携・連絡調整実施回数

| 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減   |
|----------|----------|-------|
| 387 回    | 302 回    | +85 回 |

ケースに関する情報共有・相談・連絡・個別支援会議等を、関係する機関（児相、区、保育園、幼稚園、小学校、中学校、療育センター等）と実施しました。

## ② 自主企画・企画協力

### ア 『ティーンズ女子会』

不登校や特性などにより他児とのコミュニケーションが苦手で孤立しがちな児童に対し、ゲームやイラストなど興味がある物を取りかかりとして集まる場を提供しました。2名の児童が参加し、少しの時間でしたがコミュ

ニケーションを取り交流することができました。今後も、何らかの困難を抱える児童の保護者が同伴で来所する機会となり、児家センの相談員が顔を合わせて相談機能を紹介することで相談へ繋がるように取り組みます。

## イ 『親子カフェ』

地域の子育て中の保護者が集まりリフレッシュする機会として、ハーバリウムやアロマオイル作りなどの講習会を実施しました。地域の子育て中の保護者が集まり情報交換を行い、子どもを一時的に別室の保育で預かりリフレッシュできる場として、また、日常の困り事を児童家庭支援センターの相談員に相談していただきやすい機会となるよう取り組んでいます。

## ウ 多様な学びプロジェクト

学校・家庭以外でも学び、居場所となる場を作り子どもたちを支えるプロジェクトにおいて、子どもたちが困りごとを相談できる場所として登録しています。

## (2) こども虐待防止啓発活動

### ① オレンジリボンたすきリレーへの協力

子どもの虐待防止運動である「オレンジリボンたすきリレー」の川崎コースにて、啓発活動を企画し、実施しています。今年度は、11/11 のたすきリレーの進行に合わせて、JR 武蔵中原駅付近で市民向けに啓発活動を行いました。

### ② 市内児家セン連絡会、区、社会福祉協議会によるイベントでの虐待防止啓発活動

「児童虐待防止推進月間」に合わせて、市内の催し物での啓発活動に協力しました。

- ・10/21 宮前区民祭り
- ・10/27 宮前区子育てフェスタ
- ・11/17 高津区子ども子育てフェスタ

## 7 児童養護施設 白山愛児園

今年度は、専門職として学習支援員を配置し、個々の学習課題を明確にし学習支援計画を作成し、学習支援の強化を図っています。また、卒園生の生活状況を把握したうえでアフターケアを実施し、園全体で取り組んでいます。今年度の重点課題である人材育成に関しては、園外研修に頼る面もありますが、養育の質の向上を目指して、ユニット職員が主体となる委員会活動や園内研修にも取り組んでいます。

8月18～19日に開催された白山納涼祭では店舗を出店するなど、地域行事には積極的に参加しました。

白山愛児園運営協議会は、年4回開催し、地域との連携強化に役立てています。

### (1) 養育・支援の実施

#### ① 養育目標

202

##### ア 思いやりの心を持ち、仲良く、たくましく、元気に過ごす。

職員が意識的に毎日子ども達へ「おはよう」「いってらっしゃい」「ただいま」「おやすみ」「ありがとう」「ごめんなさい」などの挨拶をすることで、子ども達も自然と挨拶が出来るようになりました。毎日のように喧嘩をしていた子ども達も子ども達同士での挨拶が増え、喧嘩をしても「ごめんなさい」と相手に伝える姿がみられるようになりました。

休日や幼稚園、学校から帰ってきたら職員と一緒に園庭や近隣の公園に出掛け、たくさん外遊びをしました。さらに個別外出を年間70日実施し、子ども1人当たり10日実施しました。職員と子ども達間の関係構築に繋がりました。

203

##### ア 心身共に元気に、好きな事に積極的に取り組む。

高校生は、週4日アルバイトに行っています。中学生2名は、週6日以上部活動に参加しました。習い事をしている子ども2名も週2日参加出来ました。職員が子どもたちの活動を参観することで子ども達の頑張っている様子が同え、応援出来ました。また、児童の保護者や地域の方々との交流も図れ、社会の輪が広がりました。

##### イ 相手の気持ちを大切にし素直に自分の気持ちを伝え合うことが出来る関係作りをする。

毎月1回、計12回の子ども会議を設け、ユニットでの生活について話し合いました。お互いにより良い生活が送れるように自分の意見や思いを出し合いました。子ども会議を設けたことにより、その場以外からも子ども達から職員へ相談が上がるようになり、より職員と子ども達の関係が良くなりました。

301

##### ア みんなが気持ちよく生活できるよう、挨拶や感謝の気持ちを大切にする。

職員が挨拶や感謝の気持ちを伝える姿をみせたことで、子ども達も自然と挨拶や「ありがとう」という姿がみられました。その子ども達の姿は、習い事に行った時にもみられ、チームメイトからは慕われ、保護者の方々には褒められる機会になりました。

##### イ 相手を思いやり、自分で考え行動する。

初めは他児の行動に目が行き、不満を漏らす姿が多くみられましたが、夏休みを過ぎたあたりから年上の子

どもが年下の子どもに「部屋の片づけを一緒に手伝おうか」「手伝おうか」と手を差し伸べる姿がみられるようになりました。また、そのような年上の子どもの姿をみた子どもがお風呂掃除や食事の配膳を手伝う姿がみられました。

#### ウ 自分のことも相手のことも気遣い大切にしながら、互いの気持ちを素直に伝えあう。

高校生はアルバイト、中学生 2 名は部活、小学生 2 名は習い事などで生活リズムが違うユニットのため、ユニットでの行事を 2 ヶ月に 1 回、年間 6 回実施し、1 泊 2 日の京都旅行にも行きました。ユニットでの行事を実施したことによりお互いのことを理解し、関係が良くなりました。

### 302

#### ア 自分を大切にすると共に、相手を思いやり、互いを尊重し合い気持ち良く生活する。

毎月 1 回こども会議を実施しました。始めはなかなか意見や発言がみだり出まらなかったが、回数を重ねるとともに発言する子ども達が増え、他児の考えに耳を傾けられるようになりました。自分と相手の考えに相違があることを理解し、お互いがより気持ち良く生活できるようにしました。

#### イ 素直に自分の気持ちを表現し、心身ともに健やかに生活する。

こども会議の中で子ども達から出た意見をもとに外出のスケジュールを立て年 4 回実施し、高尾山やテーマパーク等に行きました。また、毎週金曜日に DVD 鑑賞の日を設けました。子ども達の声にすぐに対応したことにより、職員との関係も良くなりました。

### 303

#### ア 輝く笑顔があふれる楽しい毎日を過ごす。

子ども達が落ち着いた生活が出来るように心理士と連携を図り、日常生活の中で子どもと個別に関わる時間を設けることと小集団での活動を取り入れ、子ども達に情緒面をケア出来るように支援してきました。年間 210 日実施し、子ども 1 人当たり 35 日実施しました。未就学児 3 名には、学習支援員とも連携を図り、個別の時間で小学校生活や学習について話しをして安心して小学校へ行けるように支援しました。

#### イ 人との温かみのある触れ合いや会話の中で育っていく。

地域行事(新ゆりグリーンタウンの街区で行われるお祭り 4 ヶ所と真福寺地区の盆踊り、麻生不動院のだるま市、田園調布学園大学の学祭や駅伝大会、ソフトボール大会など)に参加することにより、地域の方々が職員と子ども達の顔を覚えて下さり、声を掛けてくれる場面もみられました。子ども達は職員との関りだけでなく、地域の方々の温かみと優しさを感じ、成長しました。

## ② こどもの満足度向上のための取り組み

権利擁護委員会主催のこども集会を実施しこどもの意見を表明する場を提供すると共に、こどもが主体となった園生活づくりを推進しています。

| 実施日  | 内 容  |
|------|--|
| 4/1  | 権利について/白山愛児園での過ごし方(こども・職員全体)                   |
| 6/27 | 白山愛児園の生活をより良くするための意見聴取(小学生)                    |
| 7/12 | 小学生からの意見(白山愛児園の裏山)について話し合う(実際に確認し、使い方や遊び方を考えた) |

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 7/23  | 権利について/夏休みの過ごし方について(子ども・職員全員) |
| 9/13  | 白山愛児園まつりの参加について(子ども全員)        |
| 9/19  | 白山愛児園まつりについて(小学生)             |
| 10/11 | 白山愛児園まつりについて(小学生)             |
| 12/20 | 権利について/冬休みの過ごし方について(子ども・職員全員) |

### ③ 学習支援の強化

ア 学習支援員とユニット職員が相談し、定期支援対象児を絞り込み、支援目標、支援内容、支援開始時刻等の計画を立てました。

イ 学習支援計画に基づきユニット職員と学習支援員が共同して学習支援に取り組んでいます。

- ・学習支援員による個別学習支援 (毎週月曜日～水曜日)

定期支援対象児童数

| 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 11名 | 11名 | 11名 | 11名 | 10名 | 14名 | 14名 | 13名 |

- ・学習支援員とユニット職員が内容等を相談し、個別学習以外でユニット職員による学習支援を行っています。

ウ 夏休みの学習、冬休みの書初めを学習支援員とユニット職員が相談し学習支援を行いました。

エ 現在、中学生2名が学習塾に通っています。

オ 1月から年長児3名が学習を始めています

## (2) 行事報告

| 実施日  | 形態 | 行事名           | 内容           | 子ども | 職員  |
|------|----|---------------|--------------|-----|-----|
| 4/1  | 園  | お花見(BBQ)      | 新児童職員紹介      | 32名 | 41名 |
| 4/7  | 招待 | ヒートアッププロレス    | 試合観戦         | 6名  | 2名  |
| 4/28 | 招待 | しんゆり子どもミュージカル | ミュージカル観劇     | 12名 | 2名  |
| 4/29 | 地域 | たけのこ掘り        | 地域の方々とたけのこ掘り | 24名 | 9名  |
| 5/5  | 園  | 市長来園          | こどもの日のお祝い    | 33名 | 25名 |
| 5/20 | 招待 | ヨット招待         | ヨット乗船体験      | 10名 | 4名  |
| 5/23 | 招待 | キッズニア         | 職業体験         | 13名 | 4名  |
| 6/9  | 招待 | あおば子どもミュージカル  | ミュージカル観劇     | 12名 | 3名  |
| 6/10 | 文体 | 卓球大会          | 施設間交流卓球大会    | 21名 | 6名  |
| 6/22 | 招待 | キッズニア         | 職業体験         | 6名  | 6名  |
| 6/23 | 招待 | ヒートアッププロレス    | 試合観戦         | 3名  | 1名  |
| 6/24 | 招待 | サッカースクール      | サッカー練習       | 1名  | 1名  |
| 6/24 | 招待 | 野球            | 試合観戦         | 8名  | 2名  |
| 7/6  | 園  | 七夕            | 日本の文化に触れる    | 35名 | 25名 |

|         |     |              |           |     |     |
|---------|-----|--------------|-----------|-----|-----|
| 7/14    | 地域  | グリーンプラザ夜市    | お祭りに参加    | 23名 | 5名  |
| 7/21    | 地域  | アカシア街区まつり    | お祭りに参加    | 23名 | 5名  |
| 7/26~28 | 園   | 夏季転住         | 全児童職員夏季転住 | 36名 | 36名 |
| 7/31    | 招待  | ポリショイサーカス    | サーカス鑑賞    | 24名 | 6名  |
| 8/3     | 招待  | 野球           | 試合観戦      | 3名  | 2名  |
| 8/6~8   | 文体  | 野球・ソフト大会     | 施設間交流対抗試合 | 14名 | 19名 |
| 8/15    | 招待  | サッカー         | 試合観戦      | 5名  | 2名  |
| 8/15    | 招待  | 花火大会         | 花火観賞      | 4名  | 1名  |
| 8/21    | 招待  | 野球           | 試合観戦      | 6名  | 2名  |
| 8/30    | 招待  | 英国ロイヤルバレエ団   | バレエ観劇     | 10名 | 4名  |
| 10/8    | 招待  | お菓子作り教室      | お菓子作り体験   | 3名  | 1名  |
| 10/26   | 園   | 白山愛児園まつり     | お祭り       | 36名 | 40名 |
| 11/3    | 招待  | サッカー         | 試合観戦      | 4名  | 1名  |
| 11/17   | 文体  | 駅伝大会・女子駅伝大会  | 施設間交流大会   | 21名 | 14名 |
| 11/18   | 園   | 七五三          | 日本の伝統文化   | 5名  | 2名  |
| 12/9    | 招待  | くるみ割り人形      | バレエ観劇     | 8名  | 2名  |
| 12/15   | 招待  | 京急油壺マリンパーク   | 水族館       | 3名  | 2名  |
| 12/20   | 招待  | 劇団四季         | ミュージカル鑑賞  | 8名  | 4名  |
| 12/21   | 園   | クリスマス会       | 季節行事      | 39名 | 40名 |
| 1/12    | 神児研 | 送別マラソン大会     | マラソン大会    | 35名 | 34名 |
| 2/3     | 園   | 節分           | 日本の文化に触れる | 36名 | 7名  |
| 2/3     | 文体  | あすなろ作品展      | 作品展に参加    | 16名 | 3名  |
| 3/2     | 園   | 卒園旅行         | 退所児旅行     | 5名  | 3名  |
| 3/21    | 園   | 施設間交流会       | 乳児院との交流会  | 13名 | 9名  |
| 3/25    | 園   | 卒業と進級を祝う会    | 児童の門出を祝う  | 36名 | 39名 |
| 3/30    | 招待  | 新百合子どもミュージカル | ミュージカル鑑賞  | 13名 | 3名  |



## 8 地域小規模児童養護施設 結

地域の防災訓練 1 回、公園の清掃活動 3 回、自治会総会などに参加し地域の方と関わる機会があり、少しずつ地域活動に参加する機会が増えました。また、小学生が地域の野球クラブチームに参加しており、クラブチームで学校の草むしりや学校行事のフェスティバルのボランティアも参加しました。

学校との連携において、学習に課題のある児童に対しての支援について、個人面談以外にも 1 度カンファレンスを行い、支援の方向性を検討する機会を設けました。高校生の児童の進路についても学校と連絡を密に取り合い、進めていくことが出来ました。

小中学生は月に 1.2 回くらいのペースで学校の友人を招いて遊ぶことも多く、今年度は年に 5 回ほどホームでバーベキューを行っています。児童の友人を招いて 1 度バーベキューを行うなど、「自分の家」というイメージが日に日に大きくなってきました。

### 養育目標

#### ア 小さなことでもありがとうと感謝の気持ちを持つこと

日々の生活の中で、職員が意識して「ありがとう」と伝えることで、児童も素直に言える姿がみられました。また、児童同士でも「ありがとう」と言い合える姿がありました。

#### イ 周りに優しく思いやりの気持ちを持つこと

周りをみて、他児や職員を気にかけて声を掛け合う姿が多くありました。12 月に幼児の入所があり、幼児がいることで、言葉使いや周りをみて声を掛ける姿がより多く感じられました。

#### ウ 元気に楽しく過ごし健康な体と心を持つこと

身体を動かして遊び、しっかり食事食べていることもあり、大きな病気になることもなく過ごすことができました。家の前でボール遊び、バトミントン、近所の公園では砂場や遊具で遊び、体力づくりもかねて地域をマラソンするなど 1 人が外へ行くと他の児童が外へ行き結果みんなで遊ぶことが多くあった。児童だけでなく、職員も一緒になって遊ぶ事で楽しさも多く、児童も元気に過ごすことが出来ました。

## 9 はくさん児童家庭支援センター

相談事業を実施する中で、「地域の中での養育と子育て支援」に取り組み、関係機関との連携を密にして、きめ細やかな支援を行いました。また、子育て短期利用事業（ショートステイ・デイステイ）の受付を丁寧に対応し、お預かりしたお子さんの状況を保護者の方にお伝えして、日々の子育てに関する相談援助を行い良好な親子関係（母子・父子関係）の一助になるように努めました。

### (1) 運営事業

#### ① 相談事業

##### ア 受理人数

| 相談受理人数 | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減    |
|--------|----------|----------|--------|
| 実人数    | 125 人    | 113 人    | +12 人  |
| 延べ人数   | 399 人    | 228 人    | +171 人 |

##### イ 相談延べ件数

| 経 路    | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減    |
|--------|----------|----------|--------|
| 電話相談   | 378 件    | 479 件    | -101 件 |
| 来所相談   | 444 件    | 416 件    | +28 件  |
| 訪問相談   | 110 件    | 79 件     | +31 件  |
| 心理療法等  | 52 件     | 88 件     | -36 件  |
| メール相談  | 18 件     | 2 件      | +16 件  |
| 手紙相談   | 1 件      | 1 件      | ±0 件   |
| 相談延べ件数 | 1,003 件  | 1,065 件  | -62 件  |

##### ウ 相談・指導内容の種別件数

| 種 別     | 平成 30 年度              | 平成 29 年度              | 増 減                   |
|---------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 養護      | 433 件<br>(虐待再掲 106 件) | 498 件<br>(虐待再掲 277 件) | -65 件<br>(虐待再掲-171 件) |
| 障がい     | 167 件                 | 170 件                 | -3 件                  |
| 非行      | 0 件                   | 0 件                   | ±0 件                  |
| 育成 性格行動 | 78 件                  | 172 件                 | -94 件                 |
| 育成 不登校  | 98 件                  | 49 件                  | +49 件                 |
| 育成 適性   | 0 件                   | 0 件                   | ±0 件                  |
| 育成 しつけ  | 15 件                  | 61 件                  | -46 件                 |
| いじめ     | 36 件                  | 65 件                  | -29 件                 |
| DV      | 1 件                   | 0 件                   | +1 件                  |
| その他     | 175 件                 | 50 件                  | +125 件                |
| 総件数     | 1,003 件               | 1,065 件               | -62 件                 |

## エ 相談経路別件数

| 種 別        | 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減   |
|------------|----------|----------|-------|
| 児童相談所      | 98 件     | 104 件    | -6 件  |
| 福祉事務所      | 68 件     | 132 件    | -64 件 |
| 区市町村・その他   | 5 件      | 6 件      | -1 件  |
| 児童福祉施設・保育所 | 38 件     | 45 件     | -7 件  |
| 児童福祉施設・その他 | 0 件      | 0 件      | ±0 件  |
| 保健所及び医療機関  | 34 件     | 0 件      | +34 件 |
| 学校等        | 53 件     | 44 件     | +9 件  |
| 家族親戚       | 401 件    | 445 件    | -44 件 |
| 近隣知人       | 5 件      | 2 件      | +3 件  |
| 児童本人       | 283 件    | 257 件    | +26 件 |
| 18 歳以上本人   | 1 件      | 2 件      | -1 件  |
| 里親・里子      | 0 件      | 0 件      | ±0 件  |
| その他        | 17 件     | 28 件     | -11 件 |
| 総件数        | 1,003 件  | 1,065 件  | -62 件 |

## オ 関係機関等との連携・連絡調整実施回数

| 平成 30 年度 | 平成 29 年度 | 増 減   |
|----------|----------|-------|
| 145 回    | 48 回     | +97 回 |

ケースに関する情報共有・相談・連絡・個別支援会議等を、関係する機関（児相、区、保育園、幼稚園、小学校、中学校、療育センター等）と実施した。

### ① 地域の子育て支援事業

#### ア 子育て短期利用事業の利用調整および相談援助

利用実人数：42 名

#### イ 乳幼児の子育て相談支援・フリースペースの提供

- ・子育てスペース・ママン（毎月第 1 水曜日・10 時～12 時）

来園乳幼児・延人数 24 組（保護者：24 名 こども：40 名）

- ・ミニ・ママン（毎週木曜日・9 時半～12 時）

来園乳幼児・延人数 33 組（保護者：33 名 こども：48 名）

#### ウ 相談対応ケースの内、保護者に時間的、精神的、経済的な余裕がないケース、または子どもに発達 の偏り等があり、一般的に子どもが経験できる活動や余暇体験が得にくい環境にあること に対する個別・グループ活動

- ・「はお」（毎週水曜日・午後 2 時半～4 時半） 実施回数：46 回 ， 対応延人数：150 名

- ・季刊イベント

- ・8/9 ：夏のグループ活動：参加児童： 6 名 ボランティア：4 名

- ・12/15 : 冬のグループ活動：参加児童：9名 ボランティア：5名
- ・3/12 : 春のグループ活動：参加児童：11名 ボランティア：5名

## エ 発達に課題のあるお子さんを支える保護者のための講座開催

地域で活動されている支援者や保護者を講師として招き、子育て支援の一助とする。

- ・親オヤ講座の開催

| 開催日    | テーマ  | 受講人数 |
|--------|--|------|
| 7月19日  | 生活力を高める                                    | 8名   |
| 8月31日  | 先輩ママに聞いてみよう PartⅡ<br>「～子どもが社会人になった今、思うこと～」 | 9名   |
| 9月10日  | 進路選択とその進め方<br>～自立に向けて、必要な力をつける～            | 8名   |
| 10月19日 | どうする？学校への相談                                | 9名   |
| 11月22日 | 感覚面の特徴や不器用さへの理解と配慮                         | 8名   |
| 12月20日 | 高校での相談と支援                                  | 8名   |
| 1月21日  | 親も子も いきいき のびのび暮らすには ①                      | 7名   |
| 2月21日  | 親も子も いきいき のびのび暮らすには ②                      | 7名   |
| 64名    |  |      |

## オ 地域の子育て力を高める講演会開催

相談機関の使い方 講師：阿佐野 智昭 テーマ：相談機関の使い方 参加者：18名

| 開催日   | テーマ          | 受講人数 |
|-------|--------------|------|
| 5月28日 | 相談機関の使い方     | 18名  |
| 3月11日 | 子どもの言葉や心を育てる | 17名  |
| 35名   |              |      |

## ② 他機関との連携・連絡調整

### ア こどもや家庭に対して迅速かつ的確に支援を行なうために関係機関との連携を緊密に図る。

- ・児童相談所、区、保育園、幼稚園、小学校、中学校、療育センター等との情報共有、連絡調整、ケースカンファレンス、個別支援会議などを実施することで、きめ細やかな支援の実践を行なうことができました。実施回数 145 回。
- ・麻生区の地域支援担当との情報交換をする中で、白山地区の関係機関との連携をより密に図る事ができました。その結果、白山地区子ども関連 4 施設事業の広報紙「はくさんクローバー通信」を定期的に発行して地域の子育て情報を発信することができました。はくさん児童家庭支援センター、白山子ども文化センター、白山保育園、地域子育て支援センターみなみゆりがおかの 4 施設が共に手を携えて、今後の地域支援への一助になる道筋を作ることができました。

### ③ 広報・啓発活動

#### ア パンフレットの改定・印刷

パンフレットを刷新しました。各種の地域イベントにおいて新しいパンフレットを基に啓発活動を行なうとともに、あらためて関係機関に配布して児童家庭支援センターの周知に努めました。

#### イ 関係機関への訪問・広報

区内の小中学校の校長会、および児童支援コーディネーターの会議に出向きました。子育て支援事業としての講座の案内を行ない、センターの存在を周知しました。

#### ウ ホームページでの情報公開

法人全体でのホームページの更新にともない、はくさん児童家庭支援センターのページも開設することで、若い世代の保護者の方々に対するニーズに対応しました。

## (2) こども虐待防止啓発活動

### ① オレンジリボンたすきリレーへの協力

市内にある児童家庭支援センターと市虐待対策室・および市社協の連携にて、オレンジリボンたすきリレーの事業の一環として、児童虐待防止の啓発活動を展開しました。